



独立行政法人 労働者健康安全機構

東京産業保健総合支援センター研修案内(令和8年1月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<https://www.tokyos.johas.go.jp>

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

・お1人様、月1回のみの受講となります。

・令和7年4月以降の認定産業医研修会をお申し込みされる産業医の方は医師会会員情報システム(MAMIS(マミス))の登録が必須となります。

・令和7年4月以降の単位付与はMAMISにより行います。単位シールの現物配付は禁止となります。

・MAMIS対応のため、ホームページの利用者登録に新たに「生年月日(西暦)」「性別」「医籍登録番号」が必要となりましたので、御登録をお願いします。

●認定産業医研修の申込受付開始は、すべて12月1日(月)10時～です。

研修日時	研修テーマ	講 師	単 位	定員
1月14日(水) 14:00～16:00	職場の感染症対策 産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。 これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、COVID-19のようにパンデミックを起こす感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。 本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門2	55
1月20日(火) 14:00～16:00	定量的フィットテストの実際 化学物質のばく露対策として呼吸用保護具を使用する場合にはフィットテストが必要です。 呼吸用保護具が個々の顔にフィットしていないと、期待される防護性能が得られません。 ここでは実機を使ってフィットテストインストラクターがテストの実際をご説明します。	日本カノマックス(株) クリーンエアソリューションズ ディヴィジョンマネージャー 有松 仁	生涯・実地2	30
1月21日(水) 14:00～16:00	リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの実際 (その1 講義編、その2 実習編) 事業場においてリスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムを運用する場合のポイントと留意事項を説明します。 リスクアセスメントとシステム監査については、簡単な事例で実習を行います。 ※単位の取得には「その1 講義編」、「その2 実習編」の両方の受講が必要です。どちらか一つのみの受講は認められません。	荒川 輝雄	生涯・専門1 生涯・実地1	50
1月22日(木) 14:00～16:00	事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、一緒に考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・実地2	50
1月29日(木) 14:00～16:00	安全衛生法令の改正動向 個人事業者に対する安全衛生法令の適用や新しい化学物質管理制度など大きな改正が続いています。 昨年5月の国会で改正労働安全衛生法の改正法が公布されました。本改正では個人事業者に安全衛生対策の推進、ストレスチェック適用拡大、化学物質による健康障害防止対策等の推進などが行われ、今後順次施行される予定です。 今回はここ数年の改正動向を含め、今後の安全衛生法の動向について考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	55

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。
※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて12月1日(月)10時～です。

＜web研修＞ ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講 師	定員
1月19日(月) 14:00～16:00	【web研修会】 事例から学ぶ産業保健スタッフが知っておきたい職場のメンタルヘルス対策の秘訣 ⑤～職場環境改善・コミュニケーション活性化編～ 産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 講師がこれまで実際に見聞してきたストレスチェック後の職場環境改善やコミュニケーション活性化の活動に関するポイントや成功事例など、困難を乗り越えてうまく軌道にのせていくための秘訣をお伝えします。 また、令和6年度厚生労働省補助事業「職場のコミュニケーション活性化に関する検討委員会」(中央労働災害防止協会)の報告書をもとに、会社と従業員、上司と部下、それぞれのギャップと対応策についてもご紹介しします。 その他、厚生労働省が進めている「小規模事業場ストレスチェック実施マニュアル」の最新情報も説明します。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。 ※令和7年11月に開催された厚生労働省「令和7年度過労死等防止対策推進シンポジウム」の講演をベースに構成しています。	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	70

＜会場研修＞

研修日時	研修テーマ	講 師	定 員
1月23日(金) 14:00～16:00	ストレスチェックの義務化に向けて法令遵守とその先の活用をイメージしよう 令和7年5月14日、労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律が公布され、ストレスチェックの実施が努力義務となっている労働者数50人未満の事業場にも実施義務が課されることとなりました。施行日は、公布の日から3年を超えない範囲なので、令和10年5月14日までは義務化となります。 本研修では、50人未満の事業所で、現時点でストレスチェック未実施の企業が、義務化に向けて準備する際についておくことや、実際に実施する場合の方法についてお伝えするとともに、結果の活用(主にセルフケア)についてもお伝えします。	CO-WELLアシスト代表 保健師 公認心理師 労働衛生コンサルタント 社会保険労務士 宗像 かほり	55
1月26日(月) 14:00～16:00	実践に基づくメンタルヘルス不調の職場復帰支援 ～発達障害と適応障害～ ベースに発達障害を持つことで、適応障害や抑うつ状態などを発症するケース、少しずつわかってきたベースがあるメンタルヘルス不調。働く仲間等や職場の理解を得ること、さまざまな調整によって支援につながる、継続した働き方ができるよう、幅広いメンタルヘルス不調への支援を考えていきましょう。 ※当研修の前14:00～14:15の時間帯に、動画視聴による「勤務間インターバル制度に係る研修」を行います。	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55
1月27日(火) 14:00～16:00	産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編) 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。 この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどの様な規則があるのか等基本的な解説をします。 また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。 皆さんで検討しましょう。	高山 俊政	55
1月28日(水) 14:00～16:00	すすめよう職場のスマート禁煙！ 職場の禁煙化は、法律や条例、ガイドラインでも示された労働衛生上の重要課題の一つです。 本研修会は、研究成果を基に作成した科学的根拠に基づく「効果的な職場の受動喫煙対策の推進方法」を提案しております。 令和14年度には、望まない受動喫煙のない社会の実現が国の目標です。 まずは、その推進方法を知ることからはじめてみませんか？ ◆注意◆ 本研修会は、禁煙化されていない事業場の関係者を対象とします。 参加型研修で、グループワークがあります。	斎藤 照代	45